

神奈川大学生涯学習 エクステンション講座【2019年後期】

本講座は神奈川大学と「防災塾・だるま」が共同で企画し、提供するものです。

2019年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座 《講義録1限目》

《講座のメインテーマ》

防災・減災の取り組み

その具体的な進め方！

記録：講座協力委員 紅林敏行

◆開催月日：2019年10月10日(木) 13:30~17:00

◆開催場所：KU ポートスクエア

◆本日のテーマ◆

・前半：『災害リスクの相互認識と共有による地域の防災・減災対策のすすめ』

講師：荻本 孝久 氏(神奈川大学工学部教授、防災塾・だるま塾長)

・後半：『受講者の自己紹介と、我が地域防災力の課題等について意見交換』

進行：山田 美智子 氏(総合司会、フリーアウンサー(FM 湘南ハパサ))



講義の様子

《地域の被害規模の極小化が基本！》

- 小さい活動でも続け、賛同者を巻き込み、地域全体の活動に展開していく。挨拶、見守り、お祭、運動会、防災訓練等の「草の根」的な活動。
- 地域の災害リスクを知り、そして地域全体で共有していく。講演会、ワークショップ、防災訓練等の活動を継続。災害リスクは変動。
 - ◇地域の地形/地質/地盤。 ◇法律、制度、行政の対策。住民の対策。
 - ◇施設、構造物、ライフライン、人口構成、災害履歴等。
- 防災リーダーの養成が必要。必ずしも自治会長でなくても良い。
- 地域の行政機関、ボランティア組織との連携も必要。



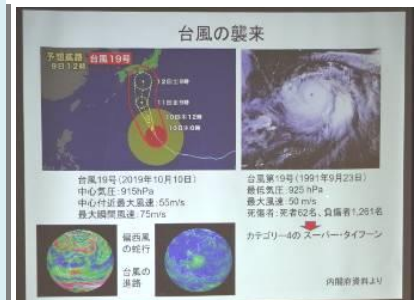
講師：荻本孝久氏

～地球環境の循環～



《被災時の最悪シナリオを考え、共有！》

- 2018年、2019年と高温が続き、地震、台風、豪雨等の災害が多発。
- 地球環境が変化。(左右の写真)
 - ◇数百年～数十万年での気候変動
 - ◇数千年～数万年での大規模噴火
 - ◇数百年～数千年での巨大地震
 - ◇数十年～数百年での大規模地震
 - ◇数年～数十年での大規模台風
 - ◇毎年～数年での洪水/土石流/土砂崩れ



『受講者の自己紹介と、我が地域防災力の課題等について意見交換』



意見交換の様子

第1回アイスブレイク 『防災めぐり』の紹介

- 3人以上集まれば、誰でもどこでも手軽にできるゲーム。
- 備え、発災時、避難時の色々な考え方や対処の方法を学ぶ。次回から体験！



《自己紹介/意見交換から課題等を抜粋》

- ◇防災減災知識を学ぶ
- ◇被災地訪問
- ◇自助の実践
- ◇安否確認
- ◇自主防災組織の活性化
- ◇実践的な防災訓練
- ◇正常化パイプ
- ◇地域、学校、保護者の連携
- ◇顔の見える関係
- ◇自治会との連携
- ◇マツヨリ防災
- ◇情報共有
- ◇要援護者
- ◇福祉避難所
- ◇想定外

片山晋さん



総合司会：山田美智子さん

『ご挨拶：荻本孝久氏(防災塾・だるま塾長)』

- 本講座は今年で14回目。メインテーマを掲げ、テーマに即した色々な実践的な内容を学習する珍しい講座。防災・減災の専門家や仲間とのネットワークも作れます。